

臨床研究に関する情報公開（オプトアウト）

この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] ニューラルネットワークによる垂直歯根破折の画像診断精度の向上に関する研究

[研究機関名・長の氏名] 徳島大学大学院社会産業理工学研究部理工学域長 橋爪 正樹

[研究責任者名・所属]

徳島大学大学院社会産業理工学研究部 理工学域 准教授 榎本 崇宏

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]

北海道大学病院 菅谷 勉 歯周・歯内療法科 教授

[共同研究機関名・研究責任者名]

菅谷 勉 北海道大学病院 歯周・歯内療法科 教授

[研究の目的]

歯根が垂直に破折した可能性が疑われた歯を対象とし、臨床検査結果およびエックス線写真検査結果、検査後に確定した診断名などを調査して人工知能で解析することによって、早期診断の精度を向上させる。

[研究の方法]

1995年4月1日から2020年5月31日までの間に、北海道大学病院歯周・歯内療法科で診断が確定された患者データを解析する。なお、本研究では、診断は北海道大学、解析は徳島大学で行う。

○利用するカルテ情報

カルテ情報：

- ① 背景情報：年齢、性別、既往歴、現病歴
 - ② エックス線写真検査結果：歯根の長さ、太さ、ポストの長さ、太さ、根管充填材の最根尖側端と根尖との距離、骨欠損の位置、骨欠損の大きさ、骨欠損の辺縁不整状態、
 - ③ 臨床検査結果：歯式、被験歯名、被験歯根名、自発痛、歯肉の腫脹、歯肉の圧痛、打診痛、瘻孔、プロービングデプス（ポケットプローブで計測した歯肉辺縁からポケット底部までの距離）、プロービング時の出血と排膿、動揺度
 - ④ 顕微鏡検査結果：破折の位置と長さ、破折線の離開状態
 - ⑤ 外科的検査結果：破折の位置と長さ、破折線の離開状態
- 徳島大学にて、上記のカルテ情報が使用され、人工知能による解析が行われる。

[研究実施期間]

実施許可日～2021年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。データの転送、管理及び保管につきましては、個人情報保護のもと厳重に行います。

また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 13 条西 7 丁目
北海道大学病院 歯周・歯内療法科
担当医師 菅谷 勉
電話 011-706-4266

徳島県徳島市南常三島町 2-1
徳島大学大学院社会産業理工学研究部 理工学域
榎本 崇宏
電話 088-656-7476